



鳥取の一票は神奈川の五票分

121
対
24

二〇一〇年の参議院選挙の時、議員一人当たりの有権者が最も多かったのは神奈川県で121万人。一方、最も少なかった鳥取県は24万人。つまり、鳥取の一票は神奈川の五票分。

最高裁は十月十七日、これを「違憲状態」と断罪。

実際、神奈川選挙区で民主の千葉景子氏は69万票で、共産の畑野君枝氏は30万票で、それぞれ落選。一方、鳥取では自民の浜田和幸氏が15万票で当選。

国民は平等の筈

憲法第十四条に「すべて国民は、法の下に平等」とあるが、これでは不平等なことは明らか。

「選挙区選出議員は地域の代表だから…」

と云う人がいる。しかし、憲法第十五条第二項に「すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」とある。国会議員が一部地域の奉仕者ということはあつてはならないのだ。

一票の価値を平等に

オランダのように全国一区比例代表にすれば全国民平等になるが、いくつかの選挙区に分けると、議員一人当たりの有権者数を全く同じには出来ない。一票の価値が違つてくる。その時、許容できるのは数%以下の誤差だけではないか？。

もし、それ以上の格差が残されたら、最低得票当選者より多く得票した者は皆当選とすべきではないか？

皆さんはどう思われますか？

清水港

日本平から



旧清水市の南部に標高三〇六mの有度丘陵がある。山頂の日本平まで自動車道路が通じており、簡単に行くことが出来る。徳川家康を祀る久能山からのロープウェイもある。富士山、愛鷹連峰が遙か遠くにかすんでいる。

駿河湾の奥に向かう海流が、大井川等からの土砂を運び砂州が出来、良港となった。

港には超低温の冷凍倉庫が沢山あり、遠洋マグロの多くがここで水揚げされる。焼津や三崎の漁船もこちらに来る。冷凍機等を作る日立の工場も見える。

製材、製紙の為の木材輸入用に広い貯木場が湾内にあったが、半製品としての木材輸入が増え、コンテナ化で廃止された。絵の中央にJFEの鉄骨工場があるが、来春閉鎖と云う。